馬耳東風

わが国の国法として形式的には国家体制の枠組みとして近世まで有効？　という位置付けで，世界で最も長期間用いられた法令が，律令国家基本法の大宝律令である．撰修が進められ，養老律令（717）の注釈書として平安前期に編纂された令義解（りょうぎのげ）は，散逸していた医疾令・倉庫令をヘレン・ケラーが母親から人生の目標となる人だと教えられた盲目の国学者・塙保己一（はなわほきいち）が，文献を探して編集し「群書類従」に復元した．公許登録女性医師第1号の荻野吟子は，当時前例が無いとして医術開業試験の受験を認められていなかったが，使命感に燃え令義解に女性医師の記述があることを訴え受験を認めさせ，女性として初めて同試験に合格した．律令時代の医師制度を群書類従が復元していたのだ．見事に時代を超えた連係プレイが実を結んだ．獣医史学で学ぶ「其れ狂犬有らば所在殺すことを聴せ」は養老律令にある．

今やコロナ感染症に世界中が振り回され，行動規制から生活権が侵され，経済活動が低迷し待望の東京オリンピックも延期された．ウイルスの特性から治療法やワクチンの研究が世界的規模で取り組まれ，WHOを核とした国際協力による地球規模での展開となった．獣医学研究者の山内一也・東大名誉教授のエマージングウイルスとの闘い（ウイルスの世紀・みすず書房）や河岡義祐・東大教授のメッセンジャーRNA活用のワクチン開発の最前線（新型コロナウイルスを制圧する・文藝春秋）で共に“One Health”の発生監視から，当然のことながら動物を横断的に理解する広い視野からの接点が進歩につながるwith virusの時代に読むほどに共振した．人類の歴史はパンデミックとの闘いの歴史である．記録によると国内で天平文化の貴族・仏教文化の花開いた奈良時代に天然痘が大流行し，不安と恐怖の絶えない大惨事の時代で，死者も多く官人もわずらい政務ができず（日本続紀）とある．ヨーロッパで14世紀に流行したペストでは人口の22パーセントを失い，社会改革の一因となった．20世紀のスペイン風邪の流行は，第一次世界大戦中で第2波・第3波が起こり世界中で数千万人が死亡した．脅威のコロナウイルスの重症急性呼吸器症候群（SARS）や中東呼吸器症候群（MERS）の発生あるいはアフリカのエボラ出血熱，さらにミンクの変異株でデンマークは1,700万匹の殺処分を勧告し地域ロックダウンも記憶に新しい．パスポートさえあれば自由に行きたい国へ行けるというグローバル社会が，突然ひっくり返って内外のまさに鎖国状態に陥った．外出自粛と事業の休業は企業体の生命線を抑え込み経済を圧迫した．一般国民が行動変容にいかに対応するかによって感染症の伝播が抑制されることが分かった．緊急措置としての教育現場の自宅学習やオンライン学習への急きょの対応は，現場の混乱を招きながらもさまざまな工夫が求められた．テレワークは当たり前となり家庭内ににわかに職場が持ち込まれた．世界中が民族色豊かに個性的なファッションマスクを付け，工夫しながら経済を動かし迎えたこの新年が，コロナに負けない力をつけた輝く年でありたいと願う．（柏）